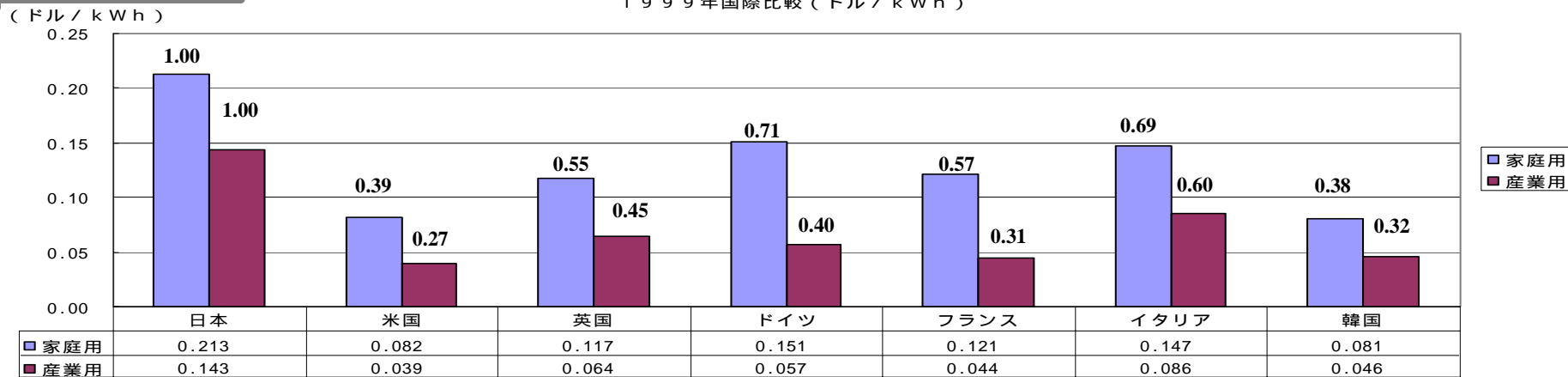


# 電気料金の国際比較（為替相場）

電気料金の内外価格差は、着実に縮小している。国際競争力に関する産業用電気料金を為替相場で比較した場合、日本の価格を1とすると、1999年から2003年にかけて、米国とは0.27から0.40に、ドイツとは0.40から0.53になり、価格差が縮小。また、イタリアとの比較では、0.60から1.20になっており、イタリアは日本よりも高い水準となっている。

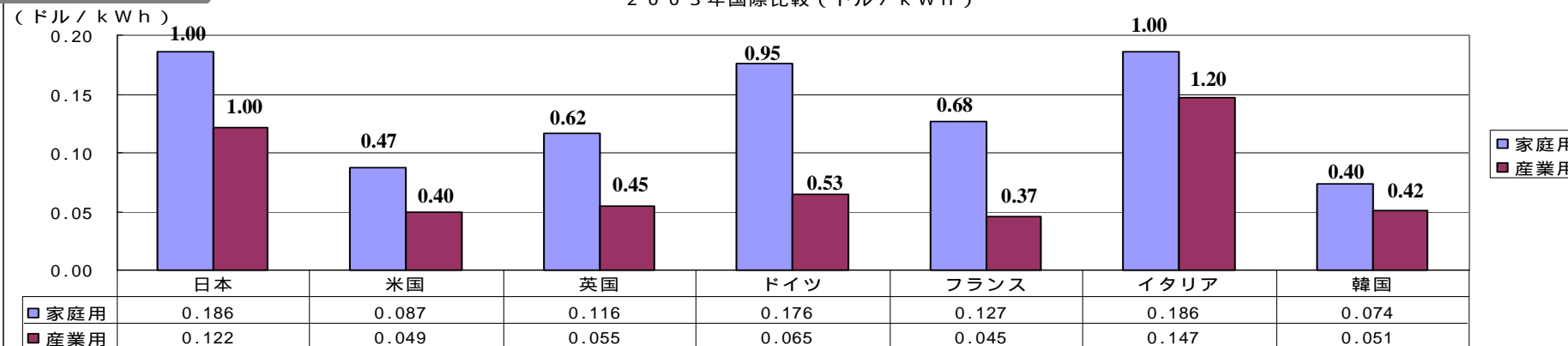
## 自由化導入直前

1999年国際比較（ドル/kWh）



## 現時点

2003年国際比較（ドル/kWh）



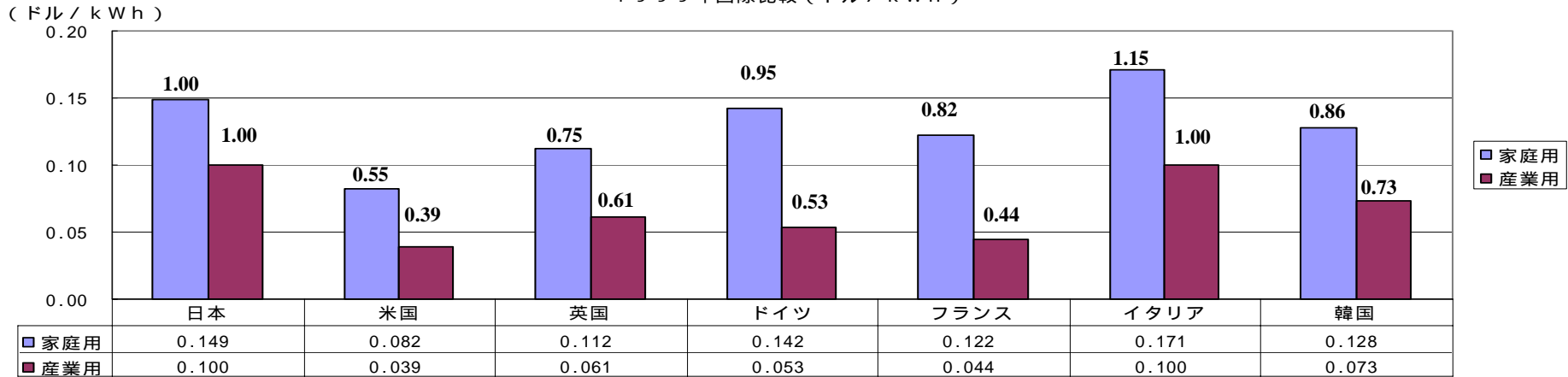
・OECD/IEA, ENERGY PRICES & TAXES 1Q/2005より。 ・1999年と2003年の各国の為替レートを元に算出 ・各国の1年間の使用形態を限定しない平均単価を計算したもの。  
 ・産業用料金の中には、業務用(商業用)の料金を含むものと含まないものがある。日本の産業用料金の中には業務用の料金を含む。 ・アメリカについては課税前の価格。  
 ・グラフ上の数値は、日本を1とした場合の各国の価格の比率

# 電気料金の国際比較（購買力平価：PPP）

電気料金の内外価格差は着実に縮小している。必需財である家庭用電気料金をPPPで比較した場合、日本の価格を1とすると、1999年から2003年にかけて、米国とは0.55から0.56に価格差が縮小。ドイツとは0.95から1.04になり、日本より高い水準になっている。また、イタリアとの比較では、1.15から1.26へと変わり、日本と比べて以前より更に高い水準になっている。

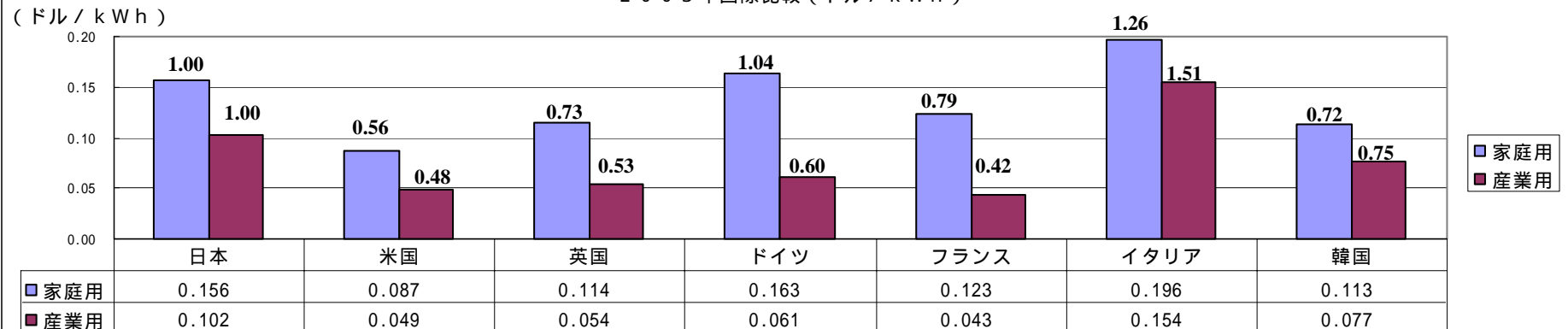
## 自由化導入直前

1999年国際比較（ドル/kWh）



## 現時点

2003年国際比較（ドル/kWh）



- ・OECD/IEA, ENERGY PRICES & TAXES 1Q/2005 より。
- ・1999年と2003年の各国のPPPを元に算出
- ・各国の1年間の使用形態を限定しない平均単価を計算したものの。
- ・産業用料金の中には、業務用（商業用）の料金を含むものと含まないものがある。日本の産業用料金の中には業務用の料金を含む。
- ・アメリカについては課税前の価格。
- ・グラフ上の数値は、日本を1とした場合の各国の価格の比率